



会社・組織風土を磨き、更なる「Good JB」を目指していきます

自動販売機専門オペレーターNo.1として

ジャパンビバレッジグループは1958年の創業以来、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆様に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造する事を理念に事業活動を続けてまいりました。現在、全国で26万台の自動販売機・マルチドリンクサーバーを展開しています。日頃よりジャパンビバレッジグループをご愛顧頂いております皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

自動販売機に関する課題への取組み

現在の自動販売機業界は、業界内の競争激化、プラスチック問題、気候変動による自然災害の影響など様々な課題があります。それらに対応するため、ジャパンビバレッジは自動販売機のオペレーション活動の再構築と、

徹底したPDCAをまわし行動革新を行ってまいります。

自動販売機の取組みの一例として、ジャパンビバレッジの主力機である「コンビ機」では、自動販売機の無線データをフル活用した新巡回システムで、自動販売機1台1台に適したきめ細やかなオペレーション体制を実施してまいります。また、現在のトレンドである健康志向に合わせた特保商品をはじめ売れ筋商品のラインナップを展開してまいります。これにより、お客様へ最適な商品の提供、そして生産性の向上も図ってまいります。

そして今喫緊の課題であるプラスチック問題では、ペットボトルもその品目の中の一つとしてとりあげられていますが、ペットボトルはポイ捨てされずにきちんと回収されたものはリサイクルがされています。ジャパン

経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

モットー

1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しみません。

5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、「活き活き」とした魅力ある職場をつくります。

ジャパンビバレッジグループ環境方針

制定：平成12年 8月1日
改訂：平成28年12月26日

基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

基本方針

我々は、自動販売機・リテール機による各種食品飲料の販売において、環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境への負荷低減を目指し、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. ジャパンビバレッジグループの事業活動、商品、サービスに関わる影響を常に認識し、事業運営に即した環境目標を設定し、定期的に見直し環境汚染の防止に努めると共に継続的に改善します。
2. 環境関連法令及びジャパンビバレッジグループが同意した、その他の要求事項を順守します。
3. 環境に関する社内研修を繰り返し実施して、全従業員のレベルアップを図りお客様の環境保全活動の一助となれるように努めます。
4. 重点的に取り組む内容については、以下のとおりとします。
 - ① 自動販売機・リテール機による環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ② 車輦に関わる環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ③ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に努めます
 - ④ 事業所において水を大切に取扱い、自然界における水の健全な循環に貢献します
 - ⑤ 事業所におけるエネルギー使用の効率化に努めます
5. 環境保全を行なう地域・企業・団体等の活動に協力します。また利害関係者に対しても、環境保全活動の理解と協力を要請し、積極的な情報開示に努めます。

本環境方針は、組織で働くまたは組織のために働くすべての人々に、周知すると共に一般に開示します。

ビバレッジでは自社が運営する飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」でのボトルtoボトルのリサイクルをはじめ、全支店でリサイクル処理フローを構築し資源循環に取り組んでおります。また、ペットボトル以外のワンウェイプラスチックへの対応については、一例としてリテール事業で扱うマドラーに紙マドラー製品を導入しました。プラスチック製品を取扱う事業者として、今後も本問題に取り組んでまいります。

更なる「Good JB」を目指して

事業活動を更に進化させていくためには、現状の課題にしっかりと取り組むことと、課題に向かって全社員が同じ方向を向いて取り組んでいくことが大切です。その中で、会社・組織風土・自分自身を磨き、更なる「Good JB」を

目指してまいります。

そして、ジャパンビバレッジレスリング部は今年川井友香子選手が入部し、所属選手は4名となりました。選手それぞれが各大会で金メダル獲得を目指していきます。スポーツを通じて皆様に感動をお届けできればと思っております。

ジャパンビバレッジグループは、今後も皆様に愛される自動販売機専門オペレーターとなれるよう事業活動を続けてまいります。今後も末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 及川 剛

プラスチック問題への対応

～自動販売機専門オペレーターNo.1として～

今話題となっている、海洋プラスチック問題。この言葉を聞くと、海に漂うペットボトルを思い浮かべる方が多くいらっしゃるかもしれません。世界で日々大量に発生する「海洋プラスチックごみ」は、長期にわたり海に残存し、地球規模での環境汚染が懸念されています。ジャパンビバレッジはペットボトルの河川や海洋への流出防止、そして確実な回収リサイクル体制を構築しています。

ジャパンビバレッジのペットボトルリサイクル

ペットボトルはワンウェイ（使い捨て）プラスチックではありません。何度も再生可能な「資源」です。

飲み終わった後、リサイクルボックスに入れていただいたペットボトルは、ルートセールスがきちんと回収し、「リサイクル・プラザJB」ほかリサイクル企業にてリサイクルをしています。



▶ 飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

ジャパンビバレッジは自ら飲料空容器の再資源化を行うべく、リサイクル・プラザJBを2003年5月に設立しました。現在は、缶・ビン・ペットボトルのリサイクルを毎日行っています。

リサイクル・プラザJBでのペットボトルの処理方法は、選別・圧縮処理により「ベール品」に加工した後、その全量を協栄産業株式会社様へ出荷しています。協栄産業様のボトルtoボトルのリサイクルにより、新たな飲料用ペットボトル（プリフォーム：ペットボトルの原型）に生まれ変わります。

ペットボトル	手選別後ベール品に加工し協栄産業様へ出荷
缶	金属加熱炉にてペレットに加工した後に製鉄会社へ出荷
ビン	ビンを色別（茶・白・緑）に選別後 ガラスリサイクル企業へ出荷

リサイクル実績
(2019年度) **6,441t**



リサイクル・プラザJB外観



手選別



ペットボトルベール品



再生ペットボトルでできたプリフォーム（ペットボトルの原型）

▶ 環境教育活動

リサイクルや環境問題についての学習の場を皆様に提供しています。この中で、ペットボトルのリサイクル方法や分別啓蒙を通じて「ゴミ」ではなく「資源」であることをお伝えしています。

● リサイクル・プラザJBの工場見学

リサイクル・プラザJBは企業・学校等の団体・個人を問わず皆様の見学を受入れております。是非一度お越しいただき、飲料空容器のリサイクルの現場をご覧ください。

● 環境出前授業

地域環境コミュニケーションとして「飲料空容器のリサイクル」についての出前授業も行っています。実際にリサイクル製品に触れたり、体験ゲームを通して楽しみながら学べる授業となっております。

● ぼくとわたしのリサイクル作文コンクールの開催

毎年、夏休み期間中にリサイクル・プラザJBを見学した小学生を対象とした作文コンクールを開催しています。



リサイクル・プラザJB工場見学



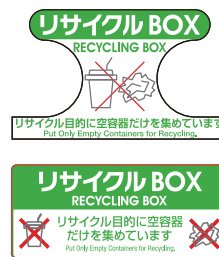
作文コンクールの開催



出前授業

▶ リサイクルボックスステッカーによる啓蒙

自動販売機の横に設置している「リサイクルボックス」はどんなゴミでも捨てていい「ゴミ箱」ではなく、「飲料空容器＝資源」を回収する箱です。ジャパンビバレッジは、オリジナルの「リサイクルボックスステッカー」を作成し、「分別の徹底」と「リサイクル」を周知していきます。



ステッカーをはったリサイクルボックス

▶ 「プラスチック・スマート」キャンペーンへの登録

「プラスチック・スマート」は、環境省によるキャンペーンであり、「プラスチックとの賢い付き合い方」の実践事例を幅広い主体から募集し、発信する取組みです。ジャパンビバレッジも「ペットボトルリサイクルフローの構築」と「環境学習・啓蒙活動」について登録し、国内外に取組みを発信しています。



プラスチック・スマートホームページ

▶ 紙マドラーの取扱いを開始

マルチドリンクサーバーやコーヒーサーバーの付帯品のマドラーに、厚紙で作られた紙マドラーを採用しました。お客様先のワンウェイ(使い捨て)プラスチック削減活動の一助として活用いただいています。



紙マドラー